

# 令和3年度第6次黒石市総合計画進捗状況のまとめ

第6次黒石市総合計画に基づき、令和3年度に実施した事業の進捗状況について、以下のとおりまとめました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響等により取組が不十分であった事業はD評価、取組を行えなかった事業はE評価としています。

## 1 自立したまち

### (1) 地域コミュニティの活性化で自立したまち(協働)

本分野では、地域住民が主体となり地域の課題を解決することができるように、黒石力(=コミュニティ力)の強化に取り組みました。分野全体の実施状況としては11事業中、B評価が7事業、C評価が2事業、D評価が1事業、E評価が1事業となりました。

特に「黒石市ごみ減量化事業」においては「生ごみ処理コミュニティビジネスモデル事業」を、北地区振興対策協議会と継続するとともに、本事業の更なる推進を図るため、令和3年4月に「生ごみ事業推進委員会」を設立しました。同委員会の企画・立案により、地区別拠点収集の実証実験の実施や、黒石小学校と連携による、たい肥の商品化に向けたパッケージデザイン決定など、同協議会と協働により事業の拡大に大きく貢献しました。事業範囲である北地区の延べ824世帯から集めた生ごみを処理機でたい肥化し、684kgの生ごみたい肥を生成しました。たい肥化することでごみ量は、実質ゼロとなり高いごみ減量効果が示されました。

「市民活動への奨励制度の創設」においては、各地区協議会が住みよいまちづくりを目的とした自主的に取り組む活動に対し、黒石市地域のくらしを守る市民活動支援事業補助金を5地区に対して交付することで地域活動の活性化につながりました。今後は、対象経費を整理・拡充し、活用しやすくするとともに、利用のない地区に対し働きかけを行っていきます。

### (2) しごとづくりで自立したまち(産業振興)

本分野では、基幹産業である農業がさらに魅力ある産業へと成長するために、農産物のブランド化、新品目の導入拡大、生産性の向上、後継者の育成等に取り組みました。また、地域産業の活性化と企業誘致の推進による雇用の場を確保する取組のほか、魅力ある市内企業の情報発信等に取り組みました。分野全体の実施状況としては13事業中、A評価が3事業、B評価が9事業、C評価が1事業となりました。

特に「次世代を担う女性農業者活躍支援事業」においては、若手女性農業者が、農業経営や技術向上のため、仲間と相互連携をとりながら行う自主活動を

## 令和3年度第6次黒石市総合計画進捗状況のまとめ

支援しました。今後も、農業の課題としてある担い手不足や労働力の確保に向け、女性ならではの視点や発想を生かし政策に反映させる取組を強化するとともに、SNSやマスメディアを積極的に活用し、活動状況を広く発信することで賛同者を増やしてグループの活性化を図ります。

「黒石ICロジスティクスクロッシング推進事業」においては、進出が確定していた6社中、3社が操業を始め、他3社も造成工事に着手しています。操業した3社については、黒石市企業立地促進条例の制度及び手続方法を周知し、同条例に基づく優遇措置を受けています。また、黒石ICを活用したロジスティクス戦略エリアの拡大及びインターチェンジの連結道路から戦略エリアへの乗入れについて、可能性調査を実施しました。今後は、ロジスティクス戦略エリアの開発用地の拡大手法及びインターチェンジの連結道路から戦略エリアへの乗入れ実現に向けて、新たな戦略を関係機関と協議の上策定します。

「人材確保・就職支援事業」においては、高校3年生を対象に、合同企業説明会のほか、企業見学会を実施しました。新型コロナウイルス感染症への対応として、求職者と企業をマッチングする『くろいし企業説明会』を実施しました。また、働くことの興味・関心を高め、将来の人材確保・育成を目的とした「黒石市小学生キッズハローワーク」を市内小学校の5年生を対象に実施しました。今後も、若年層をはじめ女性、高齢者、障がい者が地元企業に安心して就業し、健康で快適な生活ができるよう、子どもから高齢者までの誰もがより多くの場面で地元企業及び業種を「知る」機会を引き続き創出していきます。

## 2 元気なまち

### (1) 歴史と伝統を活かした元気なまち(文化)

本分野では「こみせ」などの伝統的建造物や歴史的資産を保存・活用することで黒石ならではの観光資源を活かしたまちづくりに取り組みました。分野全体の実施状況としては6事業中、A評価が3事業、B評価が2事業、C評価が1事業となりました。

特に「伝統的建造物群保存地区保存活用事業」においては、伝統的建造物群保存地区内の建造物の修理に対し補助金を交付するとともに、保存地区内の防災設備の維持管理に対する支援を行いました。今後も、伝統的建造物が適正に保全されるよう所有者と連携しながら、物件や防災設備の維持・管理を支援していきます。

「黒石市歴史的景観形成計画に関する事業」においては、街なみ環境整備事業地区(中町、横町、浜町、前町及び上町)を対象とした「こみせ」や建築物等の修景に係る経費の助成を3件行いました。今後も、街なみ環境整備事業地

## 令和3年度第6次黒石市総合計画進捗状況のまとめ

区において、歴史的・文化的資産でもある「こみせ」や建築物等の修景等への助成を行い、歴史的街なみを守り育みながら、魅力ある景観の形成を図っていきます。

### (2) 新たな拠点で人がにぎわう元気なまち(環境)

本分野では、中心市街地の活性化のため、新たな拠点の整備や、まち歩き観光の推進に取り組みました。分野全体の実施状況としては5事業中、A評価が1事業、B評価が4事業となりました。

特に「まちなか活性化事業」においては、地域の活性化とまち歩き観光を推進するため、市内まち歩き関係団体と連携し、人材育成を図りました。また、まち歩きの満足度向上を図るため、中町こみせ通りにWi-Fiを整備し、SNSなどを活用した情報発信に努めました。今後も、まちなかの回遊性のある環境整備に合わせ、まち歩きの満足度向上を図るため、SNSなどを活用した情報発信に努め、観光客の滞在延長に繋げていきます。

「市立図書館の整備」においては、市立図書館新築工事の着手、備品購入、市立図書館運営計画及び子ども読書活動推進計画の策定、設置条例の制定等、令和4年7月1日のオープンに向け準備を行いました。オープン後は、市立図書館運営計画に基づき図書館運営を行うとともに、図書館利活用促進事業を行い、市民の図書館利用の拡大を目指します。

### (3) 移住人口・交流人口の拡大で元気なまち(観光)

本分野では、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったものの、アフターコロナに向けて、インバウンドの受け入れ態勢強化や市の魅力発信に努めました。分野全体の実施状況としては20事業中、A評価が1事業、B評価が12事業、C評価が3事業、D評価が2事業、E評価が2事業となりました。

特に「観光資源の充実・活用」においては、伝統芸能である津軽民謡、手踊りを活用するため、津軽伝承工芸館の一部を「伝承ホール」として改修を行いました。また、ねふた師の技術を活用するため、ねふた絵を活用した紙袋の制作を行いました。今後は、JR東日本が運営する四季島の訪問地として選定されるなど、黒石市の観光資源に気付いてもらえる好機ととらえ、受け継いできた文化をより洗練された形で提供できるよう努めていきます。

「インバウンドへの対応による交流人口の増加」においては、オーストラリア出身の国際交流員を令和元年7月から継続して任用し、市内事業者からの受入体制相談などの外国人誘客事業の支援や、外国人目線でのSNSによる情報発信のほか、地域住民に対して英語講座レッスンをオンラインで2回実施、保育施設の英語交流を3施設で延べ5回実施するなど、異文化理解のための交流

## 令和3年度第6次黒石市総合計画進捗状況のまとめ

活動に取り組みました。今後も、引き続き市内の事業者への受入態勢支援を継続するほか、将来にわたり国際的に開かれた市になるよう児童・生徒への異文化紹介など活動の幅を広げていきます。また、アフターコロナに向けて持続可能な事業の立案、市内小学生への英語教室開催等による外国への理解を深める活動、国際化人材育成への支援、海外への黒石製品の輸出等の経済交流など誘客を図っていきます。

「広域観光体制の充実とPR活動等の推進」においては、法人設立2年目となる津軽圏域14市町村で構成される地域連携DMO「一般社団法人ClanPEONY津軽」が観光庁の登録DMOに登録となり、圏域内の事業者との連携や他地域でのセールスを計画し、体験コンテンツを販売するサイトの整備や新規旅行商品のモニターツアー実施など広域観光の連携、推進の担い役として取り組みました。今後は、観光客のニーズや動向を数値化し、津軽地域における戦略的な観光施策に繋げるとともに、連携構築のための専門部会の組織への取組など広域観光の充実を図ります。

### 3 安心なまち

#### (1) 子育て支援と教育環境の充実で安心なまち(子育て・教育)

本分野では、妊娠・出産期からの切れ目のない支援を目指し、安心して子どもを産み育てやすい環境を整備するとともに、子どもたちの希望をかなえるための「学び」の環境を整える取組を進めました。分野全体の実施状況としては29事業中、A評価が12事業、B評価が13事業、C評価が1事業、D評価が2事業、E評価が1事業となりました。

特に「子ども家庭対策事業」においては、中学生までの医療費自己負担分を無料とし、対象年齢を県内と同レベルまで引き上げることができました。今後も、子どもを育てやすい環境づくりに努めていきます。

「算数・数学「UPる」事業」においては、学習をサポートする「UPる」先生を、小学校には4校に5人、中学校には2校に4人配置し、ティームティーチングにより児童生徒一人一人に対してきめ細かな指導を行いました。今後も、児童生徒が、より学習理解を深められるよう「UPる」先生の有効活用を図っていきます。

#### (2) 高齢者福祉の充実で安心なまち(福祉)

本分野では、より多くの高齢者が可能な限り自立した日常生活を送れるように、健康で安心して暮らせるまちづくりを進めるとともに、地域包括ケアシステムの充実を図りました。分野全体の実施状況としては7事業中、A評価が

## 令和3年度第6次黒石市総合計画進捗状況のまとめ

1事業、B評価が1事業、C評価が5事業となりました。

特に「地域包括ケアシステムの充実」においては、生活支援コーディネーターが中心となり、各団体の活動訪問を行い、必要な支援や助言を行うことで活動の活性化に取り組みました。また、住民のニーズから移動販売車の新規開拓のため、市内で移動販売を行っている業者に情報提供し、北地区での運用開始に繋がりました。移動販売車が口コミで広がり、買い物弱者への支援として要望のあった個人宅へのマッチングにも繋がりました。さらに、住民主体の介護予防活動を支援するため、黒石市地域介護予防活動支援補助金の周知を行い、活動が定着・継続できるよう支援を行いました。今後は、住民同士での高齢者の日常生活上の助け合い活動や交流活動が継続するよう、黒石市地域ささえ合い活動促進事業の周知を行い、各々の地域が住民主体でニーズに対応できるよう担い手の育成とマッチングを図っていきます。

「高齢者地域見守り事業」においては、民生委員や町内会等と適切に連絡を取り合い、情報共有に努めたことで延べ対象者11,893人のうち、97.4%の方々に訪問での見守りを行うことができました。今後も、事業委託先である地区協議会を始め、民生委員等と連携し、単身高齢者が地区で安心して生活できるよう見守りを継続していきます。

### (3) 健康づくりの推進で安心なまち(健康・福祉)

本分野では、黒石市健康都市宣言に基づき、市民一人ひとりの健康的な生活習慣づくりや心の健康づくり、スポーツを通じた健康づくりなどを促進する取組を進めました。分野全体の実施状況としては16事業中、A評価が1事業、B評価が11事業、C評価が4事業となりました。

特に「訪問指導」においては、疾病の発症及び重症化予防を図るため、がん精密検査対象者及び糖尿病性腎症等の重症化予防対象者に対し、受診勧奨を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、個々に応じた保健指導を実施しました。今後も、未受診者と治療中断者への受診勧奨を継続するとともに、疾病の発症及び重症化予防対象者へ個々に応じた保健指導を継続していきます。

「特定保健指導」においては、集団健診の特定保健指導対象者に対し、青森県総合健診センターに委託し、個別の指導を98人の方々に実施しました。今後も、自らの健康は自らが守るという意識の波及と規則正しい生活習慣が継続できるような支援をしていくとともに、医療機関と連携し指導実施率向上を図っていきます。

「スポーツ活動の充実」においては、スポーツ推進委員による市内各種団体、小学校等の14団体に対しスポーツ・レクリエーション実技指導を計20回実

## 令和3年度第6次黒石市総合計画進捗状況のまとめ

施し、一市民一スポーツ推進の一助となりました。今後も、市内各種団体等からの要望に応じて一市民一スポーツ推進を図っていきます。

### (4) みんなが暮らしやすい安心なまち(安心・安全)

本分野では、地震や豪雨による災害、事故などの危険から市民の生命と財産を守るため、ハード・ソフト両面から取組を進めて危機管理や防災体制の強化等を図りました。分野全体の実施状況としては15事業中、A評価が4事業、B評価が5事業、C評価が5事業、E評価が1事業となりました。

特に「自主防災組織の設立と支援に関する事業」においては、地域住民による自主防災組織結成の推進及び活動の活性化を図るため、各地域の自主防災組織に「防災対策事業」と「防災士養成事業」を積極的に活用してもらうための周知を行い、地域防災の確立を図りました。今後も、地域の自主的な防災活動を促進するほか、地域防災力の向上のため、自主防災組織のカバー率100%を目指します。

「総合的な防災体制の確立」においては、新型コロナウイルス感染症に配慮した避難所整備を行うとともに、新たな防災情報システムを整備し、防災意識の高揚及び危機対応能力の向上を図りました。今後は、新たな生活様式スタイルでの総合防災訓練を実施するとともに、新たな防災情報システムを周知し、さらなる情報伝達体制の強化を図ります。